

第2回総合計画審議会後の委員からの意見等

No.	頁	委員からの意見・要望
1	-	<p>なは市民協働大学院では、分かりやすさとイメージを大事にしたいと思います。そのため、難しい専門用語や行政用語を極力避けた一方で、従来にはない概念を提示するために新たに造語や表記方法に工夫したところがあります。「那覇」の表記方法や、「近助」はその代表例です。</p> <p>基本構想では、こうした考え方がベースになっているものがあり、それを崩すと全体のバランスが取れなくなるなど、元々の意義や意味が失われかねないものもあります。</p> <p>審議会委員のみなさまの中には、馴染みのないものや奇抜なことと思われるかも知れませんが、極端なものや理解得られそうになうものであれば、修正は必要だと考えます。しかしながら、そうでなければ、市民案を活かして頂いた「基本構想(案)」を出来るだけ尊重して頂けないでしょうか。</p>
2	-	薔薇色の表現ばかりでなく、課題を意識するような表現も入れるべきではないか。
3	-	前回の審議会場で、「課題」が提示されていないのご意見を頂きました。なは市民協働大学院でもあったと思いますが、「基本構想」の段階では、那覇市のめざす理想の姿を提示するビジョンのレベルであって、この段階では課題は提示しないものだと考えております。「基本構想」を実現化するために、基本計画を立てる段階で、課題を明確にして、それを解決するための施策を行うものではないでしょうか。そのため「基本構想」の段階では、「課題」の提示までは必要はないものと考えております。
4	-	P2、上段6中段にあるように、「これまでの100年で築き上げた風格を大切にするとともに・・・」と謳われており、風格が感じられない箇所が見受けられるため表記の修正をお願いしたい。
5	14	基本構想案について、元になった「なはで暮らそう！働こう！笑顔広がる元気なまち NAHA ～みんなでつなごう市民力～」のなかで、「育てる」ことを強調するために、「なはで暮らし、育て、働こう！～」になったとのことでしたが、①「暮らそう」のなかに生活全般が含まれていることや、②キャッチフレーズのリズム感が崩れることもあって、あえて変更までしなくてもよいのではないのでしょうか。
6	14	ローマ字、ひらがな、漢字表記の意図は何か。
7	14	国際都市を目指す表現としてのローマ字表記に違和感がある。国際都市を目指すのなら別の方法で目指すべき。
8	14	国際性や多様性については、基本計画において表現できると考えています。
9	14	「笑顔広がる元気なまち NAHA」を「笑顔広がる国際文化都市 NAHA」に変更を提案。
10	14	この項目は、「1まちづくりの将来像」であり、構想案の(元気なまち)では抽象的で、那覇市の目指す具体的な方向が見えない。かつての琉球王国の歴史・文化と沖縄の国際性を生かして国際文化都市とした。
11	15	「暮らし、育て、働こう」だと働くことにウェイトが大きく占める ⇒No. 43 関連意見
12	15	「愛着と誇りを持って暮らし、子育てを楽しみ、生き活きと働く市民の笑顔が元気いっぱい広がる活力あふれる」修飾語が多すぎるので整理してもらいたい。 ⇒No. 44 関連意見
		「一人ひとりが結びつく絆が重要」を「地域において一人ひとりが支え合う絆が重要」に変更を提案。

No.	頁	委員からの意見・要望
		子供や高齢者の見守り等「地域で支え合う」視点が大事である。又、P17・・・「地域と福祉で支え合う」との整合性の確保
13	15	「愛着と誇り」を「地域に愛着と誇り」に変更を提案。 文章の整序
14	15	共生の絆(Kyosei) に、以下の文言を加えてほしい。 子どもから高齢者、 <u>障がいの有無にかかわらず全ての人々が</u> 、世代や性別の枠を超えて… 共生社会は、障害者の運動が目指してきたものです。これで、子ども高齢者、障がいのある人ない人、性別が含まれます。
15	15	性別に関する言及が見当たらない。全ての部会で検討をお願いしたい。子育てを応援しますといっても女性にばかり押し付けられても困るので。
16	15	性の多様性について言及してもらいたい。
17	15	(4) 「共鳴の絆」と(5) 「寛容の絆」について 「共鳴の絆の「地域やの他の良い事例の学習・・・」は当然であり、記述する必然性に乏しい。「寛容の絆」の項目・・・心に優しい社会は、市民に寄り添う意味は理解できるが、「おおらか」「つつみこむ」ことを本構想の施策として項目建てる必要があるか疑問。
18	16	小さな「わ」が大きな「WA」へとつながるの「わ」と「WA」はどのような意味があるか。 ⇒No. 46 関連意見
19	16	「近助」の意図は何か。
20	16	「多様なつながりで共に助け合い、認め合う安全・安心にくらせるまち NAHA」のテーマ設定において、昨日の第2回審議会では、「わ」「WA」とコミュニティの重要性と、更に「近所」という助け合いを示す造語もすばらしいと思います。上記の良い点を踏まえながら、そこまで、議論が深まっていくうえで、現実的な課題として、単身世帯で亡くなる状況(孤立死)も年間100件ほどあり地域福祉計画においては、その課題の対応には、基本的には、身近な地域＝小地域＝自治会単位(ご近所の集合)での安否確認を推進するとして地域見守り隊の設置を進めており、今後全自治会等におけるの推進を目指しています。ただ、多くの高齢者や、此れまでの孤立死の多くは、自らSOSを発することが苦手とし、または人の手を患わず事を拒否する方が多いのが現実にあります。地域見守り隊を推進することは、個人情報保護制度のもと、各人権を尊重しつつ、地域や関係者が遠巻きで(ガスメーター、水道、新聞、電気や洗濯物、買い物の行き来等)ご近所の見守りを通じた安否確認で、地域に見守られているという安心感で結果、多くの住民がSOSを発することが自然に行われる福祉で街づくり運動を目指しています。—提案—上記の課題は福祉の分野においては、防災、防犯と並び安否確認という形で、安全・安心・安否確認を推進する福祉で街づくり運動という文言・あるいは多くの住民がSOSを発することが自然に行われ助けを求められる福祉でまちづくりを加えていただけると、上位計画にもとづき福祉分野における地域福祉計画及び地域福祉活動計画における、具体的な実行計画が進めやすくなると思います。
21	16	那覇をNAHAと書くことで、国際性、未来性を表現することは、理解できますが、「WA」というアルファベットで、国際性を表そうとしていることには、少し抵抗があります。このように単に言葉遊びではなく、もっと具体的な施策につながるような表現を考えたほう

No.	頁	委員からの意見・要望
		が良いと思います。
22	18	<p>「子ども・教育・文化」という並びはよくあるものであり、一見すると調和されているように見える。しかしながら当該基本構想の実現に向けた諸施策は「子ども」に特化されたものにはならないことが予想される。「子ども」が「教育」や「文化」と本当に並列し得るかどうか、場合によってはこどもみらい部の所掌事業を中心に「子ども」を別立てにすることも検討されたい。</p> <p>また文面をみていると、「学び」ないし「学習」への言及が見られるが、「教育」や「文化」と並ぶ形でキーワード化はされていない。「学び」や「学習」という概念は「教育」や「文化」に付随するものではあるが決して同義ではなく、「学習施策」として展開する場合には「教育施策」や「文化施策」とはまったく別の論理から推進されるものである。明確な評価指標を立てやすくする観点からも、「学び」ないし「学習」を「教育」「文化」と並列させることも検討されたい。</p>
23	18	<p>・「学校を地域のまちづくりの拠点にするとともに、…」という文言は、すごく重要だと考えています。城間幹子市長の施政方針を受けて、どこまで、基本構想に明記していくべきなのか。よくわかりませんが…。○平成27年度…「学校を中心とした新たなまちづくり」○平成28年度…「新たなコミュニティへの期待」○平成29年度…「協働によるまちづくり」というように、具体的に進化してきています。4月20日的那覇市校長会では、市長自らが、私の目指す那覇市の学校と題して、「学校のオープン化とプラットフォーム化」について、喫緊の課題への対応と将来の姿としてお話をしておりました。そのことから、「学校を地域のまちづくりの拠点にするとともに、…」という一文でとどめていいのか。個人的には、もう少し、基本構想(案)と、基本計画に見えるかたちで、表現できないかと考えています。</p>
24	18	<p>「いつでもどこでもだれでも学びやスポーツを楽しめる」に違和感を感じる。学びは文化やスポーツも包含する。⇒No. 47 関連意見</p>
25	18	<p>前回の審議会場で、「学びとスポーツ」は「学び」の中に含まれないかのご意見を頂きました。なは市民協働大学院での話し合いの中では、他の分野(保険・福祉・医療)との関係もあり、「健康・長寿」に対する想いを強調する意味もあって、あえてスポーツを出してきていたと思います。</p> <p>また、スポーツアイランドとして県全体としてもスポーツの振興に取り組んでいることや、那覇市もプロ野球キャンプが行われています。さらに第5次総計の期間中の2020年には、東京オリンピックの開催も予定されています。</p> <p>プロフェッショナルなものから市民レベルまで、幅広くスポーツに取り組むことで、深刻な危機にある長寿県おきなわの復活に向けて、他の分野ではスポーツが出てこないこともあるので、ここであえて出してもよいのではないのでしょうか。</p>
26	18	<p>こどもを支援するというスタンスが大きい。こどもが主体性を持ち自分ごととして受け止める表現が必要。</p>
27	19	<p>物流基地としての視点がない。</p>
28	19	<p>構想案にある「何度も訪れたい観光地」としての地位を築くために、ハード&ソフトの充実が不可欠です。歴史・文化・自然・ホスピタリティ・・・日本国内においてはリピーターが多い屈指の県だと思いますが、このマーケットを海外(アジア)に広げることが出</p>

No.	頁	委員からの意見・要望
		来れば沖縄の未来は大変明るいものと思います。(ありがたい姿とあるべき姿)の議論がありました。一経済人としては忌憚なく(ありがたい姿)を提案していきたいと考えます。今後ともよろしく申し上げます。
29	19	2020年のMICE施設の完成に向けて、沖縄県は国際見本市の誘致に力を入れていくと承知しています。国際見本市が頻繁に開催されるようになると、観光とは異なる人の流れ、すなわち海外のビジネスパーソンの増加が期待されます。アジア主要都市との近接性もそれを後押しすると考えられます。沖縄県の玄関口である那覇市は、増加する海外のビジネスパーソンを産業振興の契機と捉え、観光地としての地位だけでなく「国際ビジネス都市」としての地位確立を基本構想の中に盛り込んではいかがでしょうか。
30	19	「リーディング産業である観光産業や情報通信関連産業はもとより、様々な産業の活性化や連携を図る」を「情報通信関連産業や地場産業の活性化を図る」に変更を提案 「リーディング産業である観光産業」は前段で記述済み、アジアの主要都市との近接する地理的優位性を活かし、「今後成長が見込まれる産業分野」とは流通・臨空港型産業等を想定
31	19	「マチグラー等の地域資源」を「マチグラー等商店街の活性化や地域資源」に変更を提案 「マチグラー等」も地域資源ではあるが、商店街の活性化で表現し、首里の紅型、壺屋の焼き物は地域資源としては産業振興で分けた方が良い。
32	19	「働く力をさらに発揮できる環境」を「働く力をさらに発揮できる労働環境」に変更を提案 労働環境は、雇用労働問題として重要であり、その位置づけを明確にする必要がある。
33	20	「安全・安心」と「安心・安全」が混在しているが、どちらを使っていくのか。
34	20	「公共空間のリノベーション」に注釈を付けた方がよい。
35	20	那覇市全域での基本構想を示すのが望ましく、「西海岸に広がるウォーターフロントエリアの整備」や「返還が予定されている那覇軍港の跡地利用・・・」等の具体的な場所(箇所)はここでは記載せず、基本計画にて記載するのが望ましいのではないかと思います。いかがでしょうか。
36	20	構想において「意識します」という表現はいかなものか。
37	20	「活用を意識します。」を「活用を検討します。」に変更を提案 「意識します。」は本構想の文言としてふさわしくないと思う。基本構想として何らかの方向性を示す必要がある。
38	21	未来を拓く3つの「力」を挙げているが、「稼ぐ」、「ひきつける」という行為に対し「地域」という概念は名詞に他ならず、その力を想起させる具体性を何も持っていない。曖昧な言葉選びが曖昧な施策を誘発することもあるため、整合性のある慎重なワーディングが望まれる。
39	21	重点取組事項のトーンが違う。泡盛産業をどうするかという各論の話ではないか。
40	21	「100年を超える古酒・・・風味を後世に引き継いできました。」の削除を提案 比喩としては個性的で魅力的だが、表現が今後那覇市の進むべき方向性を示す基本構想にはなじまない。泡盛は基本計画等の各論で論じるべきである。
41	21	「100年を展望し、まちの「仕次」として新たな仕組みづくり」を「100年を展望し、社会情勢の変化に対応しつつ、まちの持続的な発展と新たな仕組みづくり」に変更を提案

No.	頁	委員からの意見・要望
		「仕次」は「持続的発展」の意味に通じると思われるので変更。
42	23	人口問題については少なからず、関心を持っております。 平成42年(2030年)の311,000人(平成72年254,000人)の算出根拠(出生率引用数値、社会増等)を差し支えなければご教示願います。
43	14	スローガンの「那覇で暮らし、育て、働こう!笑顔広がる元気なまちNAHA」について、「那覇で暮らし、働き、育てよう!笑顔広がる元気なまち」ではどうだろうか。 理由「働こう!」では、働きが強調されている感じがする。「育てよう」は「働き方」「子育て」「笑顔広がる元気なまち」を育てるに係ると考える。
44	15	2行目から、次のようにしてはどうだろうか。 そのうえで、輝かしい未来に向かって歩みながら、○愛着と誇りをもって生き活きと暮らせるまち、○働きがいがあり、多様な生き方ができるまち、○子育てを楽しみ、笑顔いっぱい・元気いっぱいの市民の住むまち。そのような「わったー自慢」のなは、那覇、NAHAを築いていきます。 理由 原文のすべての修飾語を入れるとするならば、箇条書きが読みやすいと考えました。修飾語を省略してもいいかと考えます。それは、2市政運営の姿勢で反映されていると考えるからです。ご検討ください。
45	16	「自治・協働・男女参画・平和・防災・防犯」部会のスローガンについて、次の複数案を検討して下さい。 案1 「多様なつながりでともに助け合い、認め合う安全・安心なまち NAHA」 案2 「多様なつながりでともに支えあい、安全で安心なまち NAHA」 案3 「多様なつながりで助け合い、認め合い安全で安心して暮らせるまち NAHA」
46	16	「WA」を使う意味の説明を行ってほしい。「国際都市に相応しいコミュニティ」というだけでは、違和感を払しょくするには説明が足りない感じがする。
47	18	「子ども・教育・文化」部会 7行目から次のようにしてはどうだろうか。 子どもの知的好奇心を高め、主体的・自立的に学べる環境を整え、共創力を育む教育を推進します。また、いつでも、どこでも、誰でも自ら学び、自ら文化・スポーツを楽しむことができるまちづくりを推進します。